

## たきかわ環境フォーラム「エコカフェ」のご案内

たきかわ環境フォーラム代表 平田剛士  
事務局長 越後弘  
073-0034 滝川市空知町 2-6-31 滝川市森のかがく活動センター内  
電話／ファクス 0125-24-2447 (越後)  
<http://ecoup.hp.infoseek.co.jp/index.html>

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ひごろよりたきかわ環境フォーラムの活動にご理解とご支援をいただき、たいへんありがとうございます。

2003 年発足の当フォーラムは、「ふるさとの自然再発見」をテーマに掲げて活動を続けてきましたが、ご好評をいただいている「エコカフェ」を今年度もオープンします。全 6 回を予定し、自然や農業に詳しい方々を講師に、一緒にお茶を楽しみつつざっくばらんなお話をうかがいながら、地域の環境問題について関心を深められたら、と願いを込めています。

5 月 30 日の第 2 回は、「雨竜沼湿原を愛する会」の佐々木純一さんを講師にお迎えし、「ラムサール条約登録湿地・雨竜沼湿原へのいざない——まだあなたに見せていない雨竜沼があります」と題して話題提供いただきます。

つきましては、ひとりでも多くの方々に興味をお寄せいただきたく、事前告知と当日の取材・報道をお願い申し上げます。

第 2 回エコカフェ「ラムサール条約登録湿地・雨竜沼湿原へのいざない  
——まだあなたに見せていない雨竜沼があります」

日時 2009 年 5 月 30 日 (土曜) 午後 1 時半～  
会場 滝川市森のかがく活動センター (滝川市空知町 2-6-31)  
講師 佐々木純一さん (雨竜沼湿原を愛する会)  
入場料 無料 (いれたての「季節のブレンドコーヒー」や紅茶=各 100 円を用意しています。マイカップをご持参下さい)  
お申し込み 不要  
お問い合わせ 電話／ファクス 0125-24-2447 (越後)  
主催 たきかわ環境フォーラム



## 内容紹介

北海道雨竜町・南暑寒岳の東側山腹に広がる雨竜沼湿原は、「天然の箱庭」と形容される素晴らしい景観を誇ります。標高 850m の台地上に形成された 101.5ha の湿原エリアに、「池塘 (ちとう)」と呼ばれる小さな沼と小湿地が合わせて 700 あまりも点在し、春から秋にかけて、200 種を超える高山植物・湿原植物の花々に彩られるのです。きわめてユニークなそのたたずまいは、山岳域に形成された湿原として世界で初めてラムサール条約に登録 (2005 年) されるなど、グローバルに重要性が認められています。6 月の山開きを目前に控えた今回のエコカフェでは、地元「雨竜沼湿原を愛する会」で保護活動に尽力されている佐々木純一さんを講師にお迎えし、雨竜沼湿原の魅力と価値を詳しく解説いただくほか、昨年 10 月に韓国チャンウォン市で開催されたラムサール条約締約国会議 (COP10) の模様をご報告いただきます。